

KPI（指標）

本計画では、事前に備えるべき目標ごとに短期又は長期、あるいはその両方の重要業績評価指標（KPI）を設定し、計画の進捗を測るとともに、計画の推進を図るものとします。

事前に備えるべき目標	シナリオ No	起きてはならない最悪の事態 （リスクシナリオ）	KPI			短期目標 R7年度	R7実績値	R7達成率	長期目標 R12年度
			項目	単位	現状 R1年度				
1、被害の発生抑制により人命の保護が最大限に図られる	1-1	構造物（建物・高架道路等）の倒壊による多数の死傷者の発生	ストックマネジメント計画に基づく更新率	%	0	90	11.6	12.9%	-
			市有建築物の耐震化率	%	99.2	100	99.2	99.2%	-
	1-3	河川のはん濫、大規模浸水等の水害による多数の死傷者の発生	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成率	%	23	100	94.6	94.6%	-
	1-7	防災意識の差による避難行動の遅れに伴う死傷者の発生	避難行動要支援者の個別計画作成件数	件	1791	3569	1286	36.0%	-
			地域防災の担い手育成（少年消防クラブ卒団生）	人	10	40	48	120.0%	65
2、救助・救急・医療活動が迅速に行われる	2-2	救助・医療支援ルートの途絶、医療施設・関係者の不足による救助・医療機能の麻痺	応急手当普及員の育成	回	1	2	2	100.0%	3
	2-4	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理、疫病・感染症等による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	避難所運営委員会の設立数	箇所	12	22	18	81.8%	33
			福祉避難所の設置運営に関する協定数	件	0	3	1	33.3%	6
3、必要な交通機能、情報通信機能を確保する	3-1	防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止	防災行政無線（移動系）のデジタル化	%	0	100	100	100.0%	-
	3-2	テレビやラジオなど災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態	三郷市防災情報架電サービスの登録者数	人	57	600	224	37.3%	-
4、必要不可欠な行政機能を確保する	4-2	市職員及び公共施設等の被災、体制の整備不足等による行政機能の大幅な低下	自家発電機用の燃料の確保	時間	16	-	-	-	72
5、生活・経済活動に必要なライフラインを確保し、早期に復旧する	5-1	食料、飲料水、生命に関わる物資が市民に適切に供給されない	伊ツモ防災講座による家庭で出来る日頃の備えの啓発活動（R1～延べ数）	回	4	30	19	63.3%	60
	5-2	電力・ガス等のエネルギー供給機能停止の長期化	蓄電池購入補助金利用件数	件	0	150	47	31.3%	300
6、経済活動（サプライチェーンを含む）機能を維持する	6-2	金融サービス・郵便等の機能停止による国民生活・商取引等への甚大な影響	災害時に通常預金引出しに必要な印鑑、通帳などがなくとも、一定額の引出しに迅速に対応できる体制を整備している金融機関の支店数	支店	2	10	24	240.0%	-
7、二次災害を発生させない	7-4	被災に伴う有害物質の大規模拡散・流出による被害の拡大	保安管理器具（土のう、止水板等）の普及推進	%	0	50	40	80.0%	100
8、大規模自然災害被災後でも迅速な再建・回復ができるようにする	8-2	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態	市内廃棄物事業者の業務継続計画の作成数	件	0	7	0	0.0%	-
9、市民・地域が自らも行動が可能な環境にする	9-2	準備・災害時・事後の行動について市民の知識・認識不足により、市民生活の再建が遅れる事態	第5次三郷市総合計画実施計画における三郷市国土強靱化地域計画関連事業の掲載件数	件	0	30	56	186.7%	50